

誰もがいつまでも住み続けたい魅力あるまちに！

# 玉川学園・南大谷地区協議会 ニュース

vol. 16 (創刊第十六号) 2022. 1

発行 & 発行責任者：玉川学園・南大谷地区協議会  
代表 服部 知行

特集！ ☆地域活動へ込めた思い☆～玉川学園商店会 & 玉川学園町内会コミュニティ部～

地域で様々な活動をしている玉川学園・南大谷地区協議会の構成団体の方々の思いを地域の皆さんにお届けしたいと思います。はじめに、昨年、玉川学園商店会会長になられた株式会社花誠 フラワーショップ Hanaiso 代表 渡辺誠一さんにお話を伺ってきました。

**Q：今年例年にしてイルミネーションやクリスマスの装飾がきらびやかで、街を明るく灯していると感じていますが、商店会のこういった方達が装飾をやってくださっているのですか。**

**A：**昨年、商店会は若手に一手に代わったので、まず組織づくりをしたんです。現状、4委員会あって、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、総務、それぞれの委員会に委員長がいて、副会長が3人いるという構図になっています。なので、イルミネーションはクリスマス委員会が担当してやっています。今後、僕が考える10年プランは、町内会も地区社協も全部一つの地域っていう大きいもので見れば、みんなで合同してやれたらいいなと思っています。今はみんなそれぞれが小さなイベントをやっているの、それを統合するための第一歩として色んなことを町内会さんとコラボしてやっているんですよ。

**Q：スタンプラリーもそうですよね。**

**A：**コミュニティ部と夏祭り委員長と僕で打合せをして、町内会さんが協力して人手も出してくれました。商店会員もだんだん減っていて、若い人も少なくなっていくし、だけどイベントはみんな参加したい、だったらアイデアは商店会が出して、お金は折半しましょうとかね(笑)。今後はもっと色んなイベントが沢山できたらいいと思っています。

**Q：スタンプラリーの当日、赤い帽子の方々や若者をたくさんお見かけしましたが。**

**A：**赤い帽子は町内会さんですね。玉川大学の農学部の学生さんも手伝いに来てくれました。玉川大学ともそういった所で多少、交流がありますね。五小さんとは、ふれあいサタデーやお店体験もやっていて、色んな意味でお付き合いしています。一年生はアサガオ、二年生は野菜(トマト・きゅうり・なす)を植える授業に行ってます。

**Q：現在、商店会に入っている店舗は何店舗くらいなのですか。**

**A：**58店舗ですね。入ってない店舗も結構沢山あります。商店会入って、色んなことやりたいって言う活発な人が入ってくれたらいいんだけど、まず、開店して1、2年は自分のお店で忙しいから、お店が落ち着いてる人達が1人、2人役員になってくれたら、元気に活性化できていいなって思ってます。入る入らないは自由じゃないですか、任意なのでね、だから本来は入らないと損するって思わせるような商店会活動をしていかなきゃいけないですよ。

**Q：商店会に入るメリットは何ですか。**

**A：**メリットって自分で探すものじゃないですか。個人経営で個人の店で何かやろうと思ったら、100円のクーポン券出す位が限界だけど、商店会ってでっかい団体として大きな何かを地域のためにやるって言うのがメリットだと僕は思います。入って随時情報を得ることがメリットという人もいれば、夏祭りだけでも参加するために商店会に協力するよっていう人もいるし、それぞれがそれぞれのメリットを持って入ってくれば良いと思っています。やりたいことがあったらぜひ役員になってやったらいいんじゃないかな。

玉川学園商店会会長渡辺さんとサンタさん



インタビューの続き・・・

Q: お店も増えるといいですね。

A: お肉屋さんがあって、魚屋さんがある、夕方になると揚げ物の匂いがプンプンするようなそういうまちが理想なんだけど、活気だっている店が入って来ないとね。やっぱり商人って強いんですよ。魚屋さんみたいに元気に「へい、らっしゃい」ってやってる人が入ってくれるといいんだけどね。この商店街の外から見たメリットって駅近なのね。600m圏内に商店が並んでいるから。町田だったら駅近でやろうと思ったらすごい高いけど、玉川学園だったら駅に近い割に安くできるってことなんですよ。そういうところで玉学は色々な業種があるんだろうけど。

Q: 最近、よく商店街を通ってるんですが、昼間の人通りは多くない感じがしますね。

A: 僕がハナイソ に来てからももう20何年経ってるけど、玉ちゃんバスができてからね、歩く人が減るじゃないですか。坂が多いから、乗って行っちゃう。町内会としては便利にと思ってだからここはもう諦めなんですよ。僕が玉川学園に来た当時は歩道に人がいつも歩いてたんですよ。このまちってあったかくていいなって。だからイルミネーションも地域の人々がどこかに行ってみるよりもここでみれるのならって思ってやっています。夏祭りもそうだと思いますよ。夏祭りも地域団体がもっと参加してくれたらいいのになと思っています。

Q: 枠が取れないって聞いたことありますか。

A: そんなことないです。僕はそこをまず第一に改革しようと思ってるんですよ。地域優先！地区社協、町内会、ボーイスカウトとかそういうところがまず活発に動いて、空いているところに色々なところが後から入ってくればいいかなと。そうすると全体のお祭りがもう少し子どもが買えるものが増えてくるじゃないですか、100円、200円握りしめてやってこれるような。地域の人たちが子ども達の為を思ってやってほしいと思って、今年のスタンプラリーがそうですよ。金魚すくいでも何でも100円。

Q: クリスマスの日にポケットパークで豚汁を配ると聞いたのですが。

A: 僕が提案してね、寒い中、地域の人が集まって、子どもにお菓子あげるだけじゃ面白くないから、豚汁やってくれないですか。コミュニティ部の古河さんと話をして、町内会の防災の練習も兼ねて町内会さんでどうですか。みんなで集まってハフハフ食べるのも面白いじゃないですか。もっともっとこういったイベントできたらいいんだけどね。費用対効果もいいしね。いずれ「大食い大会」やりますよ。食べ物屋さんが協力して、駅前から順番に各店舗が色々なもの出して、参加者は全部を何分で食べ切れるかとかでもいいし、あと「月見坂登り競争」をしようかなって。10代の部、40代の部とかでタイムでやったら面白いなと。住んでる人があの道使うの許してくれるなら、賞金だけつけてあげれば、本気でやるし面白いでしょ（笑）。結構やりたいことはたくさんあるけど、何しろお金がないので。自前のお金だけでできるイベントがあって、人が集客できて、まちを知ってくれる、まちを歩いてくれば「あそこのお店行ってみたいね」とかなるから、そこまで歩いてまわるっていうのが前提で、そういうことが全部背景にあったのがスタンプラリーです。

Q: 商店会のイベントの情報はどうやって手に入りますか。

A: 今後LINEの公式アカウントを作ったから、そこで友達を増やしていこうかなと思っています。それが今の時代にあってるんじゃないかな。QRコードで友達登録できるように各店舗にキーホルダー配るとかね。何するにも会長になってから一歩目だからね。今後いろんなことを増やしていきたい、地域の方と協力しつつやっていきたいね。

※2021年11月30日現在の内容です。



12月25日クリスマスイベントにたくさんの地域の方が集まって豚汁を食べました。



続いて、玉川学園町内会コミュニティ部の古河博さんにお話を伺ってきました。

Q: コミュニティ部は昨年できたのですか。

A: そうですね、2年目に入りました。昔の成人部、青少年部、高齢者部、文化部を一緒にしたのがコミュニティ部です。今後コミュニティ部としては子どもやお父さんお母さんにアピールするようなイベントを増やすことで、子どもたちが元気になって親たちも安心して町内会に繋がってもらえればいいなと思っています。また、これからはお年寄りも若い方も含めた幅広く、更にはもっと持続可能なコミュニティづくりができないかとも思っています。『きんじょの本棚』もその一環で、本を誰でも気軽に借りられて好きな所に返せる、それと本を読んだ感想なんかを書いてもらって、本を通じて人と人とのコミュニケーションが始まって、というようなことができないかなと思ってやっています。また、玉川学園は坂が多い街で標高差が家によって違うので、話題作りに憩いの椅子や町内会の掲示板に標高をつけて、近所の方との対話が生まれたらと思い、始めたところです。

Q: 商店会のイベントにも協力されていると伺っています。

A: コミュニティ部になってから初めて商店会と一緒にやったのがスタンプラリーで、風船を配るのを町内会でやりました。ハロウィンでは町内会のブースでお菓子を配りました。また、12月25日のクリスマスでは「おむすび食堂」と一緒に豚汁を作ってくれて、町内会のテントでは豚汁を配って、商店会のテントではじゃんけん大会でプレゼントを配ってという感じでやります。色々なところと繋がって色々なことをやっていきたいので、範囲を広げていっている状況です。

Q: 新しく引っ越して来た方へ町内会への入会をどう促していますか。

A: 総務の方で、班長さんや支部長さんが情報を得て入会案内も積極的にしていこうとしています。クリスマスポスターにも入会案内に飛ぶQRコードを載せていますし、ゆくゆくはSNSを利用してPRしていきたいと思っています。防犯防災・環境活動に加えてコミュニティ部としても魅力的な町内会と思っていただけるような活動をして、町内会への入会を促していきたいです。

※2021年12月7日現在の内容です。



今後の催し  
◇1月9日(日) 餅つき  
in玉川学園コミュニティセンター  
※若いつきて募集中！  
◇3月12日(土) 街の小さな音楽祭  
inさくらんぼホール

二世代、三世代に渡る人、明日引っ越してくる人も  
住民みんなで創る南大谷・玉川学園のまちづくり・

このまちは、人が宝です！

## 地区別懇談会のお知らせです！

町田市では市民協働推進課・福祉総務課が中心となり、「わたしの地区の未来ビジョン」策定に向けて、地区別懇談会を開催します。玉南地区では「あなたが毎日ワクワクするのって、どんなまち？」をテーマに、地区別懇談会を開催します。玉南地区では「あなたが毎日ワクワクするのって、どんなまち？」をテーマに、地区別懇談会を開催します。玉南地区では「あなたが毎日ワクワクするのって、どんなまち？」をテーマに、地区別懇談会を開催します。玉南地区では「あなたが毎日ワクワクするのって、どんなまち？」をテーマに、地区別懇談会を開催します。

# 地区別懇談会は延期となりました。



## 最新情報は町田市ホームページにてお知らせいたします。

※地区別懇談会とは、市民や事業者、NPO等が一堂に会し、日々の暮らしや活動の中で感じている地域のいいところの困りごととその解決のための方向性などを話し合い、地域の人々による具体的な取り組みにつなげていく会です。

日時：2022年2月27日(日) 10時～12時  
場所：玉川学園コミュニティセンター  
お問合せ先：  
清瀬社 skiyos@gmail.com  
翁真由美 tgmo.tikukyougikai@gmail.com

フラッグアートGuide Book  
が発行されました！

地域で始めたフラッグアート事業は、12年目を機に、地域の皆さまとご一緒に《フラッグアート Guide Book》を発行いたしました。年内は主要な方々に配布、来年度からの制作に生徒・児童さんに配布して、学校での楽しい作品づくりに活用してもらえれば幸いです。地域に根付いたフラッグアートが今後も末永く続き、更に皆さまに感動が広がっていくように、今後ともご協力よろしくお願い致します。

配布のご希望などございましたら前野までメールを下さい。  
玉川学園・南大谷地域フラッグアート実行委員会  
代表 前野紀夫 [tomao@jcom.home.ne.jp](mailto:tomao@jcom.home.ne.jp)



## 編集後記

渡辺さんとは同い歳（42歳）ということもあって話が盛り上がり、まだまだ書き足りないこともありますが、普段聞くことができない核心に触れることができたと思います。玉川学園商店会も玉川学園町内会も若い世代を取り込んだ新たな組織づくりによって、さらに活性化されているように感じました。また、地域の子どもから大人までみんなに喜んでほしい、楽しんでもらいたいという思いでやられていて、本当にありがたいことだなと思います。今後のイベントも楽しみです。これからの時代、多世代で協力しあって、より多くの地域の人々の力と新しい息を吹き込むことが大切だと思います。地域の方がやりたいこと、楽しいことをみんなで共有して実現できる、そんな活力のある地域のために、玉南地区協議会も今後もより一層、構成団体の方との連携を深め、子どもも大人も楽しめる、学びある活動をしていけたらと思います。まち（地域）との関わり方は人それぞれだと思いますが、自分たちのまちに一步繰り出すことで、人との繋がりが生まれるかも知れません。また、地域内での金銭の巡りも良くなり、お店も人も元気になって、活気のある明るいまちになっていくのではないのでしょうか。

皆さん、まちに繰り出してみませんか？

広報担当：翁真由美

## <お問い合わせ先>

玉川学園・南大谷地区協議会事務局（玉川学園コミュニティセンター駅前連絡所内）

TEL：042-732-9372

代表 服部 知行 [hym-kaede@jcom.home.ne.jp](mailto:hym-kaede@jcom.home.ne.jp)

事務局長 篠原 佑 [shinotasuku@yahoo.co.jp](mailto:shinotasuku@yahoo.co.jp)

ホームページURL：

<https://tgmotikukyougikai.blogspot.com/>

